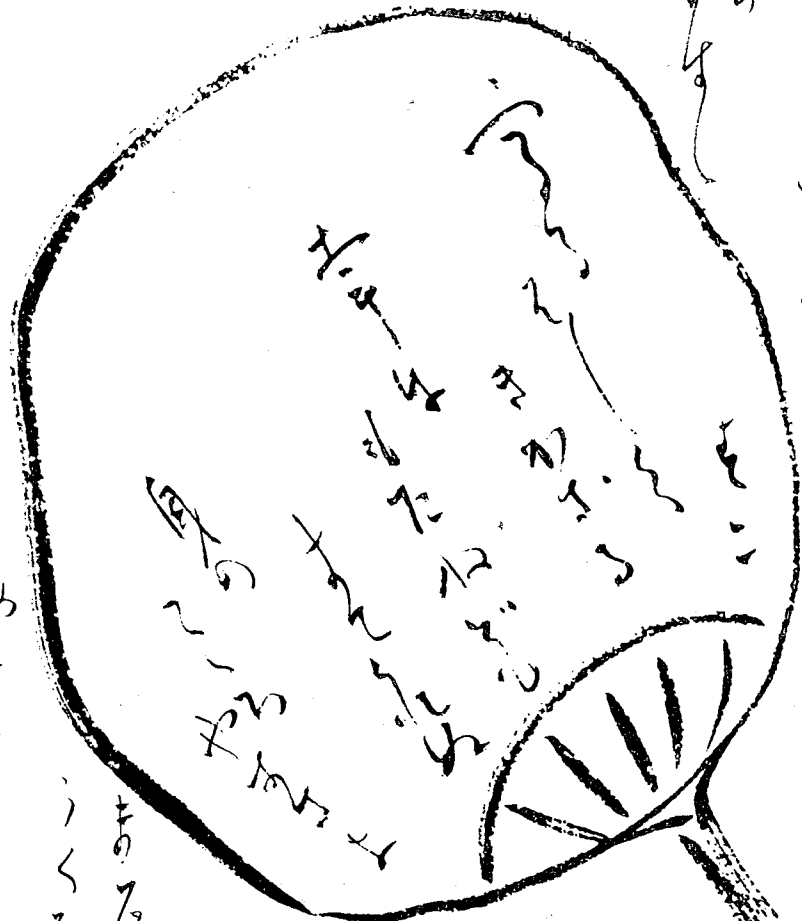


成蹊会誌41

1975年夏号



まぶしのやま

こらいつてきて

わの
ま

まぶしのやま
こらいつてきて
わのま

まぶしのやま
こらいつてきて

まぶしのやま
こらいつてきて

まぶしのやま
こらいつてきて

まぶしのやま
こらいつてきて

成 蹊 学 園 概 況

(成蹊学園総務課提供)

一、成蹊学園近況

学園ではここ数年の財政状況に鑑み、昭和五十年年度から小・中・高・大各校の納付金の改訂が行われ、授業料等が約五〇%増額されました。

大学においては在学生の実情にあわせるため、理事会の議を経て入学定員の変更届を文部省へ提出していましたが、十二月二十五日付でこれが受理されました。変更後の入学定員は経済学部三〇〇名、工学部二〇〇名、文学部三〇〇名、法学部三〇〇名、合計一、一〇〇名(従来は九一〇名)となりました。また本年度から新しく、成蹊高校以外の外部の高校からの推薦入学制度を設け、今回七一名がこの制度により入学いたしました。

大学院関係では工学博士の学位授与がありました。因みに現在まで成蹊大学で授与した博士の学位は四名(いづれも工博)となっております。

施設関係では五月に長年の懸案でありました小学校食堂・学生会館・教職員食堂(鉄筋コンクリート造、地下一階地上三階建、延五、四四八平方米)が旧大食堂跡に立派に新築されました。昨春馴染み深い大食堂の建物が取り壊されたときは一抹の寂しさを覚えました。新装なった建物を眺めて喜ぶもひとしおであります。次に運動場の北東隅にはこれ又待望久しいプールが五月に新設されま

した、このプールは25m×17m・8コース、鋼製のすばらしいものです。構外施設としては老朽化の甚しいポート部の戸田艇庫が取り壊され、十一月に新築(鉄骨造、一階建・延三七八平方米)されました。また教職員の厚生施設として第三職員住宅(鉄筋コンクリート造、三階建・延一、〇〇四平方米、十八戸)が、住宅公団の特定分譲住宅として新築されました。

次に異例なこととしては、大学では納付金の値上げを契機として一部の学生が騒ぎ、授業も若干休講せざるを得ませんでした。しかし乍ら年度内には授業の補講もつき、学年末試験も入学試験も無事に済ませることができましたことは何よりなことと思えます。また一月十三日には、いわゆる「狼派」と称する者より爆破予告の怪電話が二度にわたってかかり、学園中が異常な緊張感に見舞われました。これを契機として学園としても非常事態における対処方法の徹底に努めております。四月五日には不慮の火災により高校の生徒部室の一部(一三〇平方米)と造形教室の物置(三三平方米)を焼失いたしました。卒業生の皆様にもご心配をおかけいたしました。が、授業も平常どおり行われ、教職員一同一層の注意と安全につとめております。

学園名物の「樺並木」は四十六年四月に武蔵野市から天然記念物として指定されており、また二年前より車輛の乗り入れ規制が行われておりますが、このたび武蔵野市では「緑の都市」計画の一環としてこの樺並木をより良く保全することになり、並木道路の舗装改修工事が行われました。樺並木は今が美しいときで、悠然と昔ながらの偉容をほこっております。

なお、昭和二十六年から二十三年間の長きにわたり学園の常務理事又は理事として在任されました賀集益蔵氏が十一月五日に、又評議員会議長および維持会会長として永年ご尽力いただいた石坂泰三氏が三月六日にご逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

二、成蹊学園組織

◇成蹊大学	学 長	福 与 正 治
	経済学部長	朝 倉 孝 吉
	経済学部長	窪 田 啓 次 郎
	工学部長	鳳 田 誠 三 郎
	工学研究科長	佐々木 昌 義
	文学研究科長	橋 本 昌 義
	法学政治学研究科長	橋 本 昌 義
◇成蹊高等学校	校 長	中 屋 健 治
	校 長	横 手 長 治
	校 長	中 屋 健 治
	校 長	中 屋 健 治
	校 長	中 屋 健 治
◇成蹊中学校	校 長	中 屋 健 治
	校 長	中 屋 健 治
	校 長	中 屋 健 治
◇成蹊小学校	校 長	中 屋 健 治
	校 長	中 屋 健 治
◇学園事務局	総 務 部 長	野 村 純 三
	総 務 部 長	野 村 純 三
	総 務 部 長	野 村 純 三
◇大学事務部	経 理 部 長	鷺 山 勇 雄
	経 理 部 長	鷺 山 勇 雄
	経 理 部 長	鷺 山 勇 雄

三、教職員及び在学生数(昭和五十年五月一日現在)

所 属	教 職 員 数			在 学 生 数		
	専任	非常勤	計	男	女	計
大 学 院	工 学 研 究 科	/	/	54	1	55
	経 済 学 研 究 科	/	/	4	0	4
	法 学 政 治 学 研 究 科	/	/	12	11	23
	文 学 研 究 科	/	/	12	0	12
学 部	経 済 学 部	45	230	45	1,664	1,825
	工 学 部	100	230	100	1,057	1,085
	文 学 部	36	230	36	358	1,793
	法 学 部	36	230	36	1,412	1,601
小 計	217	230	447	4,582	1,825	6,407
高 等 学 校	52	20	72	665	415	1,080
中 学 校	37	7	44	515	262	777
小 学 校	30	1	31	434	301	735
国 際 特 別 学 級	4	12	16	22	22	44
養 護 教 諭	6		6			
事 務 技 術 労 務 職 員	219		219			
合 計	565	270	835	6,218	2,825	9,043

卒業生総数	342	大 学 名	入学者数
進学者数	279	早稲田大学	5
進学者 内 訳	成蹊大学	智里海子	2
	国立大学	東京女子医大	4
	私立大学	治亜大	2
	短期大学外	細光教習院	2
その他	63	立和京本 阪朋	1
大 学 名	入学者数	早稲田大学	1
成蹊大学	92	立和京本 阪朋	1
経済学部	33	立和京本 阪朋	1
工学部	38	立和京本 阪朋	1
文学部	54	立和京本 阪朋	1
法学部	2	立和京本 阪朋	1
一橋大学	1	立和京本 阪朋	1
北海道大学	1	立和京本 阪朋	1
東北大学	1	立和京本 阪朋	1
東京女子大	1	立和京本 阪朋	1
お茶の水女子大	1	立和京本 阪朋	1
東京工業大	1	立和京本 阪朋	1
東京外国語大	1	立和京本 阪朋	1
東京芸大	7	立和京本 阪朋	1
東慶大	8	立和京本 阪朋	1

六、高等学校卒業生の主な進学先(昭和五十年四月現在)

矢作重雄(高20)	塩崎英生(高19)	西郷清郎(旧高2)	川久保正典(旧高2)	川上秀成(旧高57)	清水英成(旧高40)	箱山高渚(旧高40)	塩原繁子(旧高17)	添木恭子(旧高16)	大内知恵子(旧高16)	岡本陽一郎(旧高11)	柳本俊郎(旧高11)	本谷精一(旧高11)	梅谷正興(旧高4)	土屋光道(政経14)	小倉俊夫(実務3)	中沢磨(旧高7)	高橋剛(旧高22)	平山四十三(旧高3)	黒川秋子(女15)	
(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)	(追加)
昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日	昭和三十八年六月二十四日

物故会員(昭和四十九年十一月三十一日)

大 学	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	成蹊から推薦者	各大学の推薦者	外部からの推薦者	高推入	入学完了者	入学完了者合計
大 学	300	6,155	5,858	641	284	92	44	420			
工学部	200	2,497	2,120	486	325	32	20	377			
文学部	300	4,625	4,065	843	435	37	7	479			
法学部	300	4,406	4,066	742	389	54	—	443			
計	1,100	17,683	16,109	2,712	1,433	215	71	1,719			
高等学校	100	522	493	136	117	264	—	381			
中学校	110	498	486	131	130	131	—	261			
小学校	120	619	506	120	120	—	—	120			
合 計	1,430	19,322	17,594	3,099	1,800	610	71	1,481			

四、昭和五十年入学試験状況

- (注) 1. 合格者および入学完了者数は補欠を含む
 2. 成蹊各学校からの推薦入学者のうち高等学校については特別学級よりの入学者5名を含む
 同中学校については特別学級よりの合格者4名を含む

() は女子の内数

研究科 学部	項目	大 学 院						学 部				計
		工学研究科	経済学	法学	文学	経営学	経	工	文	法		
進 学	大学院入学	0	3	0	1	0	1	3	27(2)	8(2)	2	45(4)
	研究生	0	0	0	0	0	0	0	3	3(2)	1	7(2)
	留 学	0	0	0	0	0	0	0	0	1(1)	1	2(1)
	小 計	0	1	0	0	0	0	2	2	2(2)	9	16(2)
就 職	就職者	0	23	0	2	1(1)	2	294(2)	193(10)	269(206)	234(14)	1,018(243)
	就職率	0	100%	0	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
そ の 他	小 計	0	23	0	2	1(1)	2	294(2)	193(10)	269(206)	234(14)	1,018(243)
	家業手伝	0	0	0	0	0	0	26	4	14(8)	24(1)	68(9)
	家事手伝	0	0	0	0	0	0	6(6)	3(3)	63(6)	10(10)	82(8)
計	その他	0	1	2	2	1(1)	0	27(2)	6	37(19)	23(2)	99(24)
	小 計	0	1	2	2	1(1)	0	59(8)	13(3)	114(9)	57(13)	249(115)
計		0	28	2	2	2(2)	3	358(20)	238(15)	397(303)	304(27)	1,337(367)

五、大学生の就職進学等(昭和五十年三月三十一日現在)

成蹊会近況

自昭和四十九年十一月一日
至昭和五十年五月三十一日

一 会議

○会員総会

- (1) 第二十回通常会員総会（昭和四十九年五月二十八日）承認の件
- (2) 昭和四十九年度事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案承認の件
- (3) 財産目録（昭和四十九年三月三十一日現在）承認の件
- (4) 昭和五十年度事業計画及び収支予算承認の件
- (5) 社団法人成蹊会評議員選任の件

○理事会

- (1) 第五回理事会（昭和五十年三月二十六日）
 - (イ) 昭和五十年度事業計画及び収支予算案承認の件
 - (ロ) 成蹊会評議員推薦の件（理事会推薦）
 - (ハ) 成蹊会名誉会員推薦の件
- (2) 第六回理事会（五月二十日）
 - (イ) 昭和四十八年度事業報告及び収支決算並びに剰余金処分案承認の件
 - (ロ) 財産目録（昭和五十年三月三十一日現在）承認の件
 - (ハ) 特別会員（教職員）推薦の件

(ニ) 謝恩顕彰会開催の件

○特別委員会

- (1) 育英奨学委員会（五月十二日）
 - (イ) 昭和四十九年度育英奨学事業報告の件
 - (ロ) 昭和五十年度育英奨学事業計画の件
- (2) 成蹊クラブ委員会（五月二十二日）
 - (イ) 昭和四十九年度成蹊クラブ事業報告の件

○同窓会

- (1) 工学部役員会（昭和四十九年十一月六日）
- (2) 池袋役員会（十一月十六日）
- (3) やよい会懇親会（十一月二十二日）
- (4) 経済学部同窓会（十一月二十三日）
- (5) 工学部同窓会（十一月二十三日）
- (6) 文学部同窓会（十一月二十三日）
- (7) 法学部同窓会（十一月二十三日）
- (8) 高校役員会（十一月二十八日）
- (9) 工学部役員会（一月十七日）
- (10) やよい会新年会（昭和五十年一月二十日）
- (11) 文学部役員会（二月一日）
- (12) 池袋同窓会（二月二十二日）
- (13) 経済学部役員会（二月十九日）
- (14) 高校（旧制）役員会（三月五日）
- (15) 小学校役員会（三月十三日）
- (16) 高校役員会（三月十九日）

(17) 法学部役員会（三月二十四日）

(18) 政経学部役員会（三月二十六日）

(19) プレメ役員会（三月二十七日）

○支部会

- (1) 関西支部会（昭和四十九年十一月八日・大阪）
- (2) 東海支部会（十一月十四日・名古屋）
- (3) 東海支部会（昭和五十年一月七日・名古屋）
- (4) 東北支部会（三月十日・仙台）

二 人事

○名誉会員（昭和五十年三月二十六日・理事会）

中村 浩（旧高3）学園創立者 中村春二先生嗣子
今村 清一（中学12）学園創立賛助員 今村繁三先生嗣子

○特別会員（教職員）（五月二十日・理事会）

- (1) 新任教職員 十名（○印卒業生）
 - 角屋 馨（経・助教授） 高橋 三雄（経・助教授）
 - 広田 明彦（工・講師） ○前沢 三郎（工・講師）
 - 遠藤 宏（文・助教授） 瀬戸 鞆吉（法・教授）
 - 斎藤 義介（高・教諭） 吉村 恵子（中・教諭）
 - 金納 善明（小・教諭） 村田三千代（小・講師）
- (2) 旧教職員 四名（在職期間満十年以上の退任教職員）
 - 岩佐 正夫（文・教授） ○栗原美能留（中高・校長）
 - 佐藤 茂（小・教諭） 橋本 武雄（事務局次長）

○同窓会会長・副会長

（任期昭和五十年四月一日～昭和五十二年三月三十一日）

- (1) 成蹊池袋同窓会
 - 会長 若林 卓弥（実4）
 - 副会長 栗原美能留（中4） 後藤 精一（専2）
- (2) 成蹊やよい会
 - 会長 武部真佐子（8）
 - 副会長 北島 裕子（22）
- (3) 成蹊高等学校（旧制）同窓会
 - 会長 丹治 道生（4）
 - 副会長 永井 邦夫（8） 今村 知雄（10）
- (4) 成蹊大学政治経済学部同窓会
 - 会長 福井 純一（1）
 - 副会長 戸塚 新（1） 安田 敬一（2）
- (5) 成蹊大学医学歯学進学課程同窓会
 - 会長 柴山 豊（2）
 - 副会長 山本 龍二（2） 湯川 佳宣（4）
- (6) 成蹊小学校同窓会
 - 会長 村上 正夫（4）
 - 副会長 小布施志郎（10） 田中栄一郎（13）
- (7) 成蹊高等学校同窓会
 - 会長 梶谷 玄（4）
 - 副会長 太田 浪三（17）

副会長 丹治 誠 (3)

山本 良介 (4)

礎本 勘二 (8)

池田 孝夫 (10)

太田 邦雄 (10)

(8) 成蹊大学工学部同窓会

会長 松井 靖夫 (1)

副会長 石郷岡 猛 (1)

蛭沢 秀孝 (1)

齋藤 富彦 (1)

(9) 成蹊大学文学部同窓会

会長 児玉 与史 (1)

副会長 小俣 洋子 (4)

藤江佐世子 (5)

(10) 成蹊大学経済学部同窓会

会長 緒方 重雄 (1)

副会長 浜中 昭 (1)

小倉 暁 (1)

中村 光一 (1)

(11) 成蹊大学法学部同窓会

会長 浜中 泰男 (1)

副会長 佐藤 貴 (1)

畑田 正樹 (1)

嶋田 正哉 (1)

三 事業

○第十六回謝恩顕彰会 (昭和四十九年十一月五日)

今井 忍先生 (七十才) 経済学部

加藤 久幹先生 (七十才) 中・高校

祖父江 寛先生 (七十才) 工学部

土方 辰三先生 (七十才) 文学部

島森鏡三郎先生 (七十才) 事務局

お祝金 (贈呈) 七三一、〇〇〇円

応募者 一六〇名

○枯林忌 (昭和五十年二月二十二日)

成蹊学園創立者中村春二 (枯林) 先生の墓参と追悼会

○刊行物

(1) 成蹊会誌第四十号 四五頁 (昭和四十九年十二月十五日)

(2) 成蹊高校 (旧制) 卒業生名簿七五頁 (昭和五十年二月一日)

(3) 成蹊大学政経学部卒業生名簿一四八頁 (二月一日)

○後援金

(1) 高校ラグビー部全国大会出場 (昭和四十九年十二月十四日)

六〇、〇〇〇円

(2) オーストラリア留学生 (昭和五十年一月十四日)

一〇〇、〇〇〇円

四 寄付金

○育英奨学基金 (昭和四十九年十一月一日) 五十年六月二十日)

寄付金額 二、一四〇、〇〇〇円 (氏名は別記芳名録20頁参照)

累計額 一五、五〇四、五〇〇円